

⑤ ICTの活用に関すること



【小・中学校】

- ・教務主任が作成した観点別評価と評定との関連づけ支援プログラムの使用により、教科担任が評定を付ける際の支援を行った。
- ・全ての学級に設置された電子黒板の活用法の研修を通して、効率的な授業方法の共有化を図ると共に、教材研究の時間の確保を行うことができた。
- ・職員室の外付けハードディスクをネットワーク化し、校務分掌や研修に係るデータを保存できるようにしたため、情報の共有化と効率的活用を図ることができた。
- ・全校生徒及び保護者を対象とする学校アンケートをマークシート方式に変えたことで、集計に費やす時間を短縮することができた。

【県立学校】

- ・教育の情報化の推進として、本年度導入されたタブレットや電子黒板の活用について各教科別の研修会を実施し、授業の充実や業務の効率化に成果があった。また、支援システムを活用して毎月の各クラスの欠席等の把握ができた。
- ・校務支援システムによる成績処理により、様々な成績処理や文書作成が一元化された。教務部から適宜説明プリントを用いた連絡を行い、文書管理が集中してできるようになった。
- ・ICTの活用について、課題別研究において児童生徒の実態に応じた活用の在り方の実践研究を行い、具体的な使用方法や活用場面、支援の手立て、評価等について情報共有を行った。職員のICT活用についての理解が深まり、効率的な業務遂行にもつながった。
- ・ICTの活用について、今年度、情報教育部を新設し、個人情報の管理とともに授業での活用の充実について取り組んだ。